

平成21年度からの繰越事業

平成21年度に予算を計上し、平成22年度に事業を実施する主なものは次のとおりです。

○地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業

2億3,166万円

国の交付金等を活用して、次の事業を行います。

ただし、事業費が交付金上限額に達した時点で事業を打ち切りとします。

- ・橋りょう維持事業
(垣ノ袖橋、川口橋等補修工事)
- ・農林会館改修事業
- ・世田米小学校屋根塗装事業
- ・上有住地区公民館耐震改修事業
- ・太陽光夜間照明設置事業
- ・防犯灯新設事業
- ・保育園照明器具防護カバー等取付事業など

○防災行政無線設備増設事業

971万円

「全国瞬時警報システム」(通称：J-A L E R T)に対応する設備を増設することで、緊急情報を住民へ瞬時に伝達するシステムの整備を図ります。

○移動通信用鉄塔施設整備事業

2,877万円

携帯電話の移動通信サービスの不感地域解消のため、新田・下柏里・暇畑地区に移動通信用基地局の整備を行います。

○太陽光発電システム設置事業

6,026万円

小学校に太陽光発電システムを整備することで、CO₂排出削減を図るとともに、児童に身近な環境教育を推進していきます。

オストメイト対応トイレを設置します。

- オストメイト対応トイレ設置事業 104万円

人工肛門・人口膀胱を持つ方(オストメイト)が安心して利用できるトイレを保健福祉センター内に設置します。

運動公園落成記念事業を実施します。

- 運動公園落成記念事業 400万円

日本女子ソフトボールリーグ岩手大会を招致するなど、運動公園の落成を記念する事業を実施します。



救急車両を更新整備します。

- 高規格救急車両購入事業 3,753万円



観光施設のPRに努めます。

- 観光施設案内誘導看板設置事業 125万円

滝観洞への誘客を図るため、誘導案内板の整備を行います。

主な新規事業

(写真はイメージです)

新しい地域・商店街の魅力を掘り起こします。

- 中心地域・中心商店街活性化事業 97万円



中心地域・中心商店街の「良さ」を再発見し、掘り起こしながら、再生と活性化を図ります。

コミュニティバスで地域の交通網を維持します。

- コミュニティバス実証運行事業 1,450万円

上有住駅～川口間と八日町～遠野間において、町営のコミュニティバスを4月1日から1年間試験的に運行し、より便利な地域の足の確保に努めます。



離職者の雇用の場を確保します。

- 緊急雇用創出事業 1,425万円



国の交付金を活用して、離職を余儀なくされた労働者の方に、次の雇用までの短期の就業機会を提供しながら、地域内の継続的な雇用の創出を図ります。

農作物被害の防止対策を実施します。

- シカ防護網等緊急設置事業費補助金 123万円

農作物被害防止策の要望が高まっている実態を受け、地域に適した防護網や電気牧柵の設置に取り組み、被害の拡大防止に向けて補助します。

住田町を 年収500万円の家庭 に例えると



町の予算を年収500万円とした場合、次のように例えられます。

収入面においては「親の援助、公的補助」の割合がとても高く、生活していくためになくはならないものとなっています。

■ 収入

給与(町税など)	96万円
親の援助、公的補助 (地方交付税など)	348万円
貯金の取崩し(繰入金)	15万円
借金(町債)	41万円

■ 支出

食費(人件費)	121万円
介護費用など(扶助費)	43万円
ローン返済(公債費)	73万円
家の増改築 (普通建設事業費など)	64万円
教育費・光熱費など (物件費など)	199万円